



人体科学会 第29回公開講演会のご案内

西野流呼吸法のメソッドと現象は 人体科学にいかなるヒントを与えるか？ -呼吸器専門医の立場から呼吸と Fascia/Soma を考える-

講演者 貫和敏博 先生（東北大学名誉教授・医師）

呼吸は人体（Soma：身体とは body だが、解剖学的進化論的語感も含めこの語を使う）にとって何の意味があるのか？NHK スペシャル「人体」を見ても「呼吸」の説明はない。「呼吸」の本質は、現代医学では歴史に埋められたままで謎である。「呼吸」は肺という臓器とともに、身体全体にも伝搬する。それは脊椎動物進化で Soma と呼吸運動（空気（魚では水）の出入）が共進化してきたからである。従って呼吸法では、ガス交換にも増して、Soma への働きかけが鍵となる。しかも一個体に止まらず、多個体 Soma は呼吸で communication ができる。AI や VR が前面にでる 21 世紀を生きる人間として、Soma を取り戻す現代の「行」、西野流呼吸法の斬新なメソッドと現象を紹介し、その意義を考える。

日時：2018年9月29日（土） 16:00～18:00（15:15～受付）

会場：早稲田大学戸山キャンパス 36号館3階 382教室

（東京都新宿区戸山1-24-1）

<https://www.waseda.jp/top/access/toyama-campus>

地下鉄東京メトロ東西線「早稲田」下車（高田馬場寄り改札口）徒歩3分

JR 山手線高田馬場駅下車、都バス早大正門行き「馬場下町」下車、徒歩1分

参加費：無料

*今回、事前申し込みは不要です。

*この公開講演会は、会員だけではなく、一般の方も参加できます。

皆様どうぞお誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

主催：人体科学会

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター

（行動・社会・文化に関する多角的アプローチ部門）

早稲田大学心理学会